

ルクセンブルク経済・金融情勢（2013年12月後半）

1. 経済

- 2013年第3四半期の被雇用者数は、前期比0.5%増、前年同期比では1.8%増。（16日付統計局プレスリリース）
- 2013年第3四半期のアパート価格は、前期比1.6%増。特に新築アパートの価格上昇率が高かった。（16日付統計局プレスリリース）
- ルクセンブルク中央銀行、2013年の経済成長率予測を1.6%～2.2%と発表。6月時点の予測より1.1ポイント上昇修正された。（16日付ヴォルト紙電子版）
- 11月の失業率は7.1%（10月は7.0%）。（20日付統計局プレスリリース）

2. 金融

- 欧州銀行監督機構（EBA）、銀行自己資本に係る調査結果を16日に発表し、当国国立貯蓄銀行（BCEE）はEBAが設定する自己資本要求をクリアしていると評価。ルクセンブルクで同調査の対象となったのは同行のみ。（17日付ル・コティディアン紙）
- ルクセンブルク銀行（Banque de Luxembourg）、バイエルンLB銀行のルクセンブルク子会社であるLBLuxのプライベート・バンキング業務及び資産管理業務を買収する旨19日に発表。（20日付ヴォルト紙）

3. 政府

- 当国政府が所有するカーゴルクス社株35%相当を中国の投資家グループである河南民航発展投資（Henan Civil Aviation Development and Investment Company: HNC A）に売却することが18日の閣議にて決定。（18日付政府公報）
- グラマーニャ財務相、ブリュッセル開催の臨時ユーログループ（17日）及び臨時財務相会合（18日）に出席。（19日付財務省コミュニケ）

※ 当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。